

# 北崎体育

発行所 柏崎体育団

編集人 石橋敏正

印刷所 柏崎印刷株式会社



## 市民スキー教室（於・池の平）

年末からの雪で、久し振りに雪のある元日を迎えた。雪をこいで多数の人が元朝体操会場に集まり、体育都市柏崎の意気を示し、新しい年をスタートした。

本年最初の市民スキー教室は快晴の池の平で実施された。

あしあと

◆ 昭和52年	1・1・元朝体操会 (市内41会場)	12・1・体育団事務局会議	11・4・市内バスケットボール リーグ(ナイターで)	10・10・16・東村山市との提携	10・10・9・都市中学校駅伝大会 会(柏小)
	12・9・元朝マラソン中止	12・9・体育団理事会	11・7・市民弓道・柔道大会	10・17・走ろう記録会	10・7・柏崎・刈羽高齢者スボ ル大会
	12・17・体育団委員会	11・13・少年スポーツ教室開始	10・24・市青年大会	10・3・きのこ汁サイクリング	10・3・柏崎地区剣道大会
	18・スキーチーム指導者講習会 (赤倉・2日間)	20・体力づくりキャラバン (西中通地区)	10・31・市民駅伝大会	10・3・市民オリエンテーリング 大会(荒浜)	10・3・バドミントン選手権大
			10・大会	10・東村山市との提携	10・東村山市との提携

吉田好道さん(第二中)に体育功労賞  
黒姫スキークラブに感謝状  
優秀指導者賞に

渋谷 孜さん(第二中)

荒川 晃さん(北条中)

## 昭和五十一年 第二十九回 優秀体育人表彰

### 一九八名が栄の受賞

表彰式 1月17日(月) 2月5日(土) 産業会館大ホール

#### ◎体育功労賞



吉田 好道

大正6年8月8日生(58才)  
柏崎市立東中学校校長

柏崎刈羽中学校体育連携副会長

内容別記

#### ◎感謝状

黒姫スキークラブ  
代表 石塚 真吾  
結成 大正12年  
内容別記



川尻 真(東中学校)

優秀競技者には、全国中学新記録、全国最優秀選手になった陸上競技の川尻真君(東中)、国体スキー大会で五位入賞した、農業高校教員の酒井吉雄先生、中学女子八〇〇Mで全国三位になつた田川雅子さん(二中)、中学一年生一〇〇Mで全国三位になつた石黒久美子さん(三中)の四人が決定した。他に奨励賞として個人二六名、団体二〇団体一六六名が受賞の栄に浴した。本年も陸上競技関係者の活躍が目立つた年であった。

永年に亘つて当柏崎地方の体育振興に尽された方々と、この一年間に各種競技大会において優秀な成績を収めた競技者に対し、柏崎体育団はその功績と榮誉を讃え表彰を毎年行なっています。

ロックード、ロックードで、オリンピックも影が薄くなつた感のある一年でしたが、当柏崎体育団さん以下の各団体は競技一筋に打ち込み、昨年を上回る好成績をあげました。

最高栄誉の体育功労賞は、長い間教員として、数多くの中学日本一を育てあげ、陰に陽に指導者を援助した、現中体連副会長の吉田好道先生(東中学校校長)に、永年の努力に報いる感謝状は黒姫スキークラブに贈られることになった。また三年振りに優秀指導者賞に、陸上競技関係の渋谷孜(第二中)、荒川晃(北条中)の両氏に競技にかたむける情熱と、生徒指導におけるひたむきな研究と努力の結果、常に県一位、全国一位等の幾多の選手を育成された功に対する表彰である。

一団体と三氏の表彰は一月十七日(月)午後五時四十五分産業会館大ホールにおける恒例の新春体育懇親会の席上で行なわれた。

石黒久美子(第三中学校)  
第3回全日本中学生陸上競技選手権大会・一年一〇〇M  
3位・13秒36



石黒久美子(第三中学校)  
第3回全日本中学生陸上競技選手権大会・一年一〇〇M  
3位・13秒36

荒川 晃(35才)  
陸上競技連盟  
柏崎市立北条中学校教諭  
内容別記



荒川 晃(35才)  
陸上競技連盟  
柏崎市立北条中学校教諭  
内容別記

#### ◎優秀競技者賞



田川 雅子(第一中学校)

酒井 吉雄(柏崎農業高教員)  
第31回国民体育大会冬季ス

キー競技大会・教員一部・大  
回転・第5位

内容別記



田川 雅子(第一中学校)

酒井 吉雄(柏崎農業高教員)  
第31回国民体育大会冬季ス

キー競技大会・教員一部・大  
回転・第5位

内容別記

#### ◎奨励賞

内山 卓巳(第一中学校)

第7回県中学校総体陸上競  
技・走高跳・第1位・1M80

第7回県中学校総体陸上競  
技・棒高跳・第1位・3M80

大会タイ

内山 卓巳(第一中学校)

第7回県中学校総体陸上競  
技・走高跳・第1位・1M80

&lt;p

表彰状

体育功労賞 吉田好道殿

あなたは、永年の教育者生活を通じて、常に体育活動が人間形成の基盤であるという一貫した信念にたち、戦後荒廃した教育現場で、いち早く陸上競技部を創設し、その指導にあたるなど、体育実践を学校運営、生徒指導の主柱として教育されました。このことは、ややもすると受験中心に流れがちな最近の中学校教育のなかにあってまさに先見の明というべきであります。

あなたの歩まれた第一中学校、内郷中学校、北条中学校、東中学校の跡には、必ず数多くの中学校日本一のチームや選手が生まれ立っています。このことは、あなたの教育が、指導者及び少年少女の胸の中に不滅の光として刻みこまれた偉業といふべきであります。

また長年にわたり、柏崎刈羽中体連の主要メンバーとして参画され、その組織をまとめ、幾多の大事業を遂行され、かくかくたる実績をあげられました。このように長期にわたり、体育振興のために、努力をされたあなたに対し、柏崎体育団はここに体育功労賞を贈り表彰いたします。

昭和52年1月17日

柏崎体育団長 近藤碌郎

池田克子(北条中)  
。第7回県中学校総体陸上競技・一〇〇M・13秒2・二〇  
○M・第1位・27秒5  
三井田芳郎(柏崎農高)  
。第31回国体陸上競技県予選

。第6回県高校選抜陸上競技大会・ハンマー投・第1位・38M88  
○M・第1位・27秒5  
海津圭子(柏崎商高)  
。県高校総体陸上競技大会・五種競技第1位・二四八六点  
分30秒2  
飯塚正行(柏崎農高)  
。北信越高校陸上競技大会・  
○M・第1位・4分5  
秒5  
五十嵐佳人(柏崎農高)  
。第2回県高校陸上競技大会・  
生大会・ハンマー投・第1位

。第31回国体陸上競技県予選

。第2回県高校陸上競技一年  
大会新  
蔵本一之(柏崎高)  
。第31回国体陸上競技県予選

会・一〇〇M・第1位・11秒5  
。第2回県高校陸上競技一年  
生大会・一〇〇M・第1位  
11秒5・大会新

○Mハーフドール・第1位・16秒  
秒7  
○Mハーフドール・第1位・16  
。県選手権陸上競技大会・  
第1位・16秒3・大会新  
○Mハーフドール・第1位・16  
。第21回新潟長野対抗陸上競  
技大会・一〇〇Mハーフドール・  
第1位・15秒6  
。第31回国体陸上競技県予選  
会・一〇〇M・第1位・13秒6  
。第6回県高校選抜陸上競技  
大会・一〇〇Mハーフドール・  
第1位・15秒2・県高校タイ  
大会新  
。第7回県中学校総体陸上競  
技大会・第1位・52秒6

ム(田村弘之、眞貝尚樹、五十  
嵐和尚、石川達雄、尾木慎治  
木村新一)  
。第7回県中学校総体陸上競  
技大会・第1位・1分36秒9  
ム(名塚晴美、相沢照美、石黒  
ゆかり、品田真知子、吉川ま  
どか、品田美佐枝)  
。第7回県中学校総体陸上競  
技大会・第2位・53秒6

ム(池田克子、庭山寿代、室賀  
穂美、伊部裕子、間島ますみ  
石橋克子)  
。第7回県中学校総体陸上競  
技大会・第1位・52秒6

【バレーボール】  
東中学校バレーボールチーム  
(中野加代子、関矢俊美、松  
原容子、田村僚子、徳間久美  
子、本間由美子、阿部真由美  
石橋克子)  
。第7回県中学校総体陸上競  
技大会・第1位・36点

【バレー】  
柏崎市役所陸上競技クラブ  
(暮見、高野彰)  
。第7回県実業団対抗陸上競  
技大会・第1位・46秒6

【野球】  
柏崎市役所陸上競技クラブ  
(暮見、高野彰)  
。第7回県実業団対抗陸上競  
技大会・総合・第1位・36点

【野球】  
柏崎信用金庫野球チーム(大野  
芳郎、阿部勉、柴野勝美、高  
橋真人、佐藤隆、水科彰、杉  
田久明、霜田正幸、桑山邦一  
池田範男、村山彰一、小野塚  
予選会・第1位)

貴クラブは、大正12年高柳村において結成されてから、柏崎、刈羽の先駆として、戦前戦後を通じて本地方スキーの普及発展に貢献されました。  
特に豪雪地という恵まれない地域の中で、その特性を巧みに生かされ、地区民との協力により、暮らしの中にスキーを定着され、高柳地区をしてスキー王国とされた功績は衆目の認めるところであります。

また、寺山スキー場、黒姫コース、固定シャンツの建設、戦前戦後を通じての各種大会、講習会の実施主管など、スキー技術の向上のための努力も目をみはるものがあります。

柏崎体育団は、このような貴クラブの地道な活動と功績をたたえると共に、今後の発展を期待してここに感謝状を贈り敬意を表します。

昭和52年1月17日

柏崎体育団長 近藤碌郎

田村和子、須田あけみ、須田  
和子、笠井美恵子、入沢かよ  
(野俣美智子、小松淳子、玉  
田多実子、丸山恭子、中村百  
合枝、種岡美晴、本田富佐枝  
片所志津子、高橋和子、大瀧  
彰子、若月かほる、鶴早苗)  
。第7回県中学校選抜総体  
バレーボール大会・第2位

柏崎工業高校四〇〇Mリレー  
チーム(赤沢義一、小柳稔、市村  
洋一、関川忍、小山利和、戸  
田靖)  
。第7回県中学校選抜総体  
バレーボール大会・第2位

正之、佐藤俊雄、稻村洋二、  
金子裕一)

二人のマネージャー

## 【バスケットボール】

柏崎ケラフバスケットボールチ  
ーム（高野悟、須田正明、小林  
一郎、中原和雄、小島博文、  
王洋、中原和雄、小島博文、

柏崎体育団副団長 月橋

六四

中沢修一、山後正一、五十嵐一弘、曾根慎治、佐藤正志、橋本正和、本間良孝、中沢則康、佐藤正規、大森秀雄選会。第2回全国クラブ大会県子選会・一般男子、第1位。同上北信越予選会・第2位。第30回近県選手権大会・一般男子、第1位

第10回新潟県野球選手権大会・第1位  
第31回国体県予選会・一般男子・第1位  
第24回北陸選手権大会・一般男子・第2位  
第24回県選抜選手権大会・第1位  
昭和51年度県選手権大会・一般男子・第2位  
一般男子・第2位  
（柏崎工高教員）

男子・第2位  
。第2回新潟日報杯争奪選手  
権大会・一般男子・第2位  
。第31回国体大會・一般男子・  
第1位  
。昭和51年度県選手権大会・  
一般男子・第1位  
小出 隆一（柏崎高教員）

佐藤昇蔵（新潟ウォンントン）  
。全国社会人卓球選手権大会  
県予選会・ファイフティ・第1位  
洲崎恒一郎（卓友クラブ）  
。全国社会人卓球選手権大会

党と名のつく以上、国民の健康の増進に重大関心を持たないものはあるまい。しかし、日本共産党の一国民スポーツ基本法』のように具体的、発展的内容を持つ政策は他党からは発表されていないようである。私が不勉強のため、知らないでいるのな

（県立柏崎中学校（現立柏崎高校）陸上競技部は、数多くの名選手を出している。この名選手達はいろいろの折に名前が出て、世人の記憶にも残っているが、この陰にかくれて、もぐもぐと努力をしたマネージャーの名前は全くといってよいほど出る機会がない。名選手の出る背後には必ず名監督、名マネージャーのいるものであるが、柏崎中学校陸上競技部の歴代マネージャーもなかなかの人物ぞろいである。中でも今の日本体育界に大きな影響を与えている二人の人がいるが、大方はご存知なことであろう。

西沢氏は昭和六年柏崎中学卒  
る。

西沢氏は他党と共同して、国民ス  
ボーツ基本法を国会に提出した  
いと語っているが、ぜひとも、  
これが実現し、みごと成立する  
よう心から祈念するものであ  
る。

実、科学的指導体系の実現、財政の確立と自立性尊重等の政策がなりたなければ国民の健康体力の増強はあり得ない。この大運動の中心となり責任者となつているのが西沢氏である。がんばつてもらいたいものである。

次にもう一人のマネージャーは、佐藤宏氏である。南鯖石出身相崎中学校大正十四年三月の卒業である。市の佐藤収入役の叔父さんであり、私より四年先輩である。先日も神戸市のお宅へ電話して、新年の御挨拶しながら「先生は学校の時、陸上競技部のマネージャーでしたね」とおたずねしたら「いや、選手と兼マネージャーだよ」という返事であった。現在、神戸市で佐藤整形外科院長をやっていらっしゃるお医者さんであるが、日本では数少ないスポーツ医学の専門家である。東大教授で日本体育協会スポーツ科学委員会委員長の黒田善雄氏の言葉によるところ、「スポーツ医学の研究家は、佐藤氏もまさに、たぐいまれなる光榮ある例外的存在である。

の頃の練習方法でいまに残るものがある。市の陸上競技場は大正十二年の建設であるから、佐藤氏のクラスが最初の練習者である。当時は、まだ陸上競技場の公認制がなく、後日よう公認グラウンドとは呼ばず、協会グラウンドといつて、いた。刈羽郡体育協会がこのグラウンドを所有し、管理していたからである。このグラウンドに練習に入る時は、必ず礼をしてから入ることにしたのは佐藤宏氏なのだろう。このグラウンドに礼をするシッケは、この頃かなりだらしなくなっているが、故事事例は以上のとおりで、遠く佐藤氏に発するものである。ぜひ存続させていきたいものである。

「ソーラー障害」などが我々の手に入る佐藤氏の著書であるが、著書名をみても、あまり見れない研究方面であることがわかる。現在でも神戸大学に教鞭をとつたり、日本体協のトレーナー訓練の講師になつたりして、その道の指導普及につとめておられるが、日本体育にとつては貴重

群体育協会がこのグラウンドを所有し、管理していたからである。このグラウンドに練習に入るのは、必ず礼をしてから入る時は、必ず礼をしてから入ることにしたのは佐藤宏氏なのだとそうである。このグラウンドに礼をするシッケは、この頃からりだらしなくなっているが、故事来歴は以上のとおりで、遠く佐藤氏に発するものである。ぜひ存続させていきたいものである。

佐藤氏のマネージャー（兼選手）の頃は、田中真茂、広島英雄、佐藤栄吉などという大選手、名選手のいた頃で、インターミドルで惜しくも優勝を逸し二位の成績だった時である。この頃の練習方法でいまに残るものがある。市の陸上競技場は大正十二年の建設であるから、佐藤氏のクラスが最初の練習者である。当時は、まだ陸上競技場の公認制がなく、後日ように公認グラウンドとは呼ばず、協会グラウンドといつていた。刈羽郡体育協会がこのグラウンドを所有し、管理していたからである。このグラウンドに練習に入る時は、必ず礼をしてから入ることにしたのは佐藤宏氏なのだろう。このグラウンドに礼をするシッケは、この頃からだらしなくなっているが、故事來歴は以上のとおりで、遠く佐藤氏に発するものである。ぜひ存続させていきたいものである。

## 表彰状

あなたは、中学時代から陸上競技一筋の道を歩み、教師生活に入られても、貫して陸上競技部の指導に情熱をそそがれてこられました。

あなたは、豊富な経験とたゆまぬ研究により、立派な理論のもとに、柏崎刈羽にとどまらず、常に全国に目をむけて指導にあたられ数多くの優秀な競技者を育成されてきました。中でも連続県一位の座を保持していくとか、国体県予選会で中学生ながら四〇回リレーで優勝するなどの快挙は、他に例を見ない偉大な業績であります。これは単に校生徒のみならず、柏崎刈羽の中学生や、地域に大きな影響を与え、陸上人口の増加につながっています。

競技者ひとりひとりを見つめ、陸上競技を愛し、誠心誠意努力されてこられた業績に対し、本団はここに優秀指導者賞を贈り表彰いたします。

昭和52年1月17日

柏崎体育団長 近藤碌郎

優秀指導者賞 渋谷孜殿

第一回中学校総体軟式庭球競技・第1位  
田武幸、片山和男、星野諭、前沢克之  
猪俣浩二、堀田浩之  
。第7回県中学校総体軟式庭球競技・第2位

柏崎高校軟式庭球チーム(加藤芳隆、伊東繁夫、滝沢昌夫、滝沢敦、犬井正、桑原爾、田村努、桜井郁雄)  
。信越軟式庭球大会・高校部・第2位  
。第29回県高校総体軟式庭球競技・第2位

【ハンドボール】  
柏崎工業高校ハンドボールチーム(西巻徹、徳永勉、高橋直人、阿部満、山沢弥、若井克己、小柳義明、平野博英、原田隆司、小熊淳、長沼一美、高野正直)  
。県高校ハンドボール大会・第1位。県高校総体ハンドボール競技・第1位  
。北信越高校ハンドボール大会・第3位

## 表彰状

優秀指導者賞 荒川晃殿

西沢氏、佐藤氏の二人がいずれも柏中時代マネージャーである。二人とも政治面と学術面との違いはあっても、いまの日本において極めて重大な立場に立っている人である。いまやお二人とも日本体育のマネージャーとなつてゐる。奮闘を乞う。

あなたは、昭和40年北条中学校に赴任されてから今まで、自らが果たし得なかつた競技者としての情熱を、陸上競技の指導に当て、県内はいうに及ばず、全国的レベルの幾多の優秀な競技者を育成されました。特に、第7回新潟県中学校選抜総合体育大会陸上競技の部においては、5種目優勝の偉業をなしとげられました。これは県中学校史上いまだかつてない快挙であります。

このことは、ただ単に柏崎刈羽の中学生に希望を与えたにとどまらず、北条地区の体育活動を活発にし、地域と学校との一体化にも大きな役割を果たしております。

このように、あなたのスポーツに対する信念と、指導の実績があげられた成果に対し、本団はここに優秀指導者賞を贈り表彰いたします。

昭和52年1月17日

柏崎体育団長 近藤碌郎



県予選会・シニクティ・第1位  
。全日本軟式選手権大会県予選会・シニクティ・第1位  
浅賀久司(卓友クラブ)  
。全日本軟式選手権大会県予選会・ファティ・第1位  
赤沢正幸(第三中学校)  
県中学校新人大会・第1位  
柏崎市チーム(洲崎恒一郎、佐藤昇輝、木村久、佐久間勝也、加藤建夫、金子邦夫、小林直子、中森幹、佐藤京子)  
。都市対抗県予選会・第2位  
柏崎市役所卓球チーム(石井良男、猪爪一郎、太田晃、本間敏博、春川純一、灰野直紀、金子邦夫、春川修一)  
。日本実業団選手権県予選会・第2位  
吉田美德、伊部直仁(遠藤茂、伊部正次、池田孝志、猪俣哲也、池田仁、佐藤昭仁)

中通中学校軟式庭球チーム(遠藤茂、伊部正次、池田孝志、猪俣哲也、池田仁、佐藤昭仁)

なる存在なのである。

。第29回県高校総体軟式庭球競技・第1位

心、生理的研究の下にスタートしたのであるが、これがいつの間にか忘れ去られ、もっぱら興味、娯楽というような面が大きくなり出て来た。これでは問題な

ので再び原則にかえり、科学的にかえり、科学的

という名の下に反省がなされていのが現状である。この時、大きな責任を持つのが、スポーツ医学の研究家なのである。佐藤氏のご健闘、ご活躍を大いに声援したいものである。

。

吉田好道君に

在仙台阿郎部芳

親しみをこめて、敢えて吉田  
君と呼ばせてもらいます。

君と呼ばせてもらいます。  
私が初めて君を知ったのは、昭和九年高田師範学校本科二部一年に入学した時で、君は一部の三年生（学制では二部一年は一部四年に相当）、既に公孫寮の中堅、陸上競技部の若きエースとして活躍していました。通称「ギャング」、色はあくまで黒く、それは顔だけではなく、外気にさらす皮膚の全て、赤銅色などという生易しいものではなくチョコレート色に輝き、一切の贅肉をさつた四肢は鋼鉄の如く、双の頬は削げ落ち、眼光炯炯として異彩を放ち、「吉田ギャン」は下級生ながら、寮生活新人（当時の師範学校は全寮制）の私を畏怖せしめるものがありました。然しやがて、君が柏崎の出身であることを知り、かすかな親しみを感じると共に、君が柏崎小学校高等科時代「県下少年少女オリンピック大会」の走高跳で、自らの身長を越えて優勝しながら、その生まれざる身体条件に限界を覺悟し、中距離走への転向を企画、壮絶な猛練習を重ね、為にあた

ら紅顔を一変せしめたことを知りました。君の猛練習は、その後長く公孫寮に神話として語り継がれるのですが、それは自己嗜虐とも思われる凄まじいもので、反吐と共に走路に倒れ、血尿便に耐えてまた走るという、当世では想像もつかない阿修羅の振舞でした。私の心は、畏怖から畏敬に変っていきました。

昭和十一年九月、君は高田師範学校陸上競技部主将として、「第十八回県下男子中等学校陸上競技大会」に臨み、敵地とも言うべき白山競技場で見事新潟師範を破つて総合優勝を成し遂げました。当時私は本科を卒業したもの、そのまま専攻科に残つてましたが、私たち学生は勿論学校当局も、「新潟師範を破つて優勝する」。それは永い間の夢であり期待ではあつても、到底信じ難い奇蹟でした。何しろその頃の新潟師範競技部は、昭和七年、八年と全国優勝を重ね、翌九年は、四〇〇席で優勝した高橋恂三郎氏がコース侵害で失格し、六点をフライにして、わずか一・五点差で京都師

いる高田師範<sup>がくわん</sup>が四点差で破つたのですから、高田の全校生徒は勿論、県下各地に奉職する高田出身の教員は肩を抱きあって泣いたと言います。しかも新潟師範は、翌十二年には再び県大会は勿論、全国大会をも制し、爾後、戦争でこの大会が廃止になるまでの四年間、県大会・全國大会を連続制覇しているのでですから、この大会が終始豪雨の中での展開だったことと思い併せ、新潟師範関係者の無念さ、残念さもさることながら、それが故にこそ君の強運にホトホト感服すると共に、私は君の凄まじい執念に、惻惻たるものを感じます。私は先般「柏新時報」に、君の学校の川尻君の八〇〇筋の記録の偉大さを紹介する一文を投稿し、恩師吉田校長もまた八〇〇筋走者だったとして、この大会での記録「八〇〇三八秒四」と書いたのですが、先月挙眉の節、君は「あれは八月の県中総体一日目以上の豪雨二位、本田の記録は二分十五秒一、一五〇〇筋は見事優勝四分の中の記録であったことを書

一度も負けていなかつたので多少の油断があつたのは事実で、豪雨で追走するバイクの音も呼吸音も全然聞こえぬゴーリ前、アットいう間にかわされまい殆ど同タイムだったと思うが、全く慚愧に堪えない」としみじみ述懐されました。四十一年の星霜を経た今にしてなお、この如く記録に対する自負と、勝負についての反省を持ち続ける執念とも言うべき君の勝負師魂が、以下列挙する君の直接間接の指導を受けた幾多の生徒諸君に、自ずと伝えられ、それぞれに無類の勝負強さを発揮したのだと思います。

核でした。私は一介の体育主任として（後に学年主任を仰せつかりますが）爾來、六年半に亘り、互いに切磋琢磨の日々を送りました。想えば、お互に若く、客気充分で面白かったですね。柏崎市長杯から高田市長杯に統く二中の因縁試合（詳細は柏崎陸上競技場五十周年記念誌参照）。第一回新潟県中学校陸上競技大会の柏崎開催。新沢君の渡欧問題。佐渡大会の汽船果として現在の柏刈中体連成立）。野田の寺院に合宿して、城北中のグラウンドで練習するという傍若無人のデモンストレーション。小国の大島旅館（小島繁三郎君の実家）に合宿したのはいいが、山の上のグラウンドでブヨの大群にとりつかれ散々の体で逃げ帰った想い出等、尽きないものがあります。

私は三十二年十月、高柳中学へ去り、君もまた二年半後には内郷中学の教頭に栄転するのですが、その間君の指導の下、一中競技部は黄金時代を謳歌します。今往時の名選手達の名を想

敗戦、新学制施行と歴史は激しく転換し、私が君に再会したのは昭和二十六年。追われる如く北鷗石中学校を去り、一中に拾っていただいた時でした。君は既に学年主任として一中の中核でした。私は一介の体育主任として（後に学年主任を仰せつかりますが）爾来、六年半に亘り、互いに切磋琢磨の日々を送りました。想えば、お互いに若く、客気充分で面白かったですね。柏崎市長杯から高田市長杯に続く二中の因縁試合（詳細は柏崎陸上競技場五十周年記念誌参照）。第一回新潟県中学校陸上競技大会の柏崎開催。新潟君の渡欧問題。佐渡大会の汽船問題。そして、柏崎市中体連と刈羽郡中体連の統合の推移（結果として現在の柏刈中体連成立）。野田の寺院に合宿して、城北中のグラウンドで練習するという傍若無人のデモンストレーション。小国の中島旅館（小島繁三郎君の実家）に合宿したのはいいが、山の上のグラウンドでデモの大群にとりつかれ散々の体で逃げ帰った想い出等、尽きないものがあります。

私は三十二年十月、高柳中学へ去り、君もまた二年半後には内郷中学の教頭に栄転するのですが、その間君の指導の下、一中競技部は黄金時代を謳歌します。今往時の名選手達の名を想す。

い出すまさに列举してみましょ  
う。佐藤吉郎、横山照子、戸ノ  
内憲輔、梅津東彦、小林正明、  
新田英明、海津睦子、小栗富枝  
古谷静枝、山田里子、大原一三  
黒崎道子、伊藤千鶴子、猪俣仁  
柳生静子、重藤昌子、宮崎アキ  
子、高野弘子、小山勝弘、下条  
謹司、古堅紘雄、渡辺宏延、中  
野モモ子、松浦美津子、柳生克  
子、小林信子、山田衛一、徳間  
清子、野村節子、滝沢茂彦、金  
本栄毫、服部一嘉、竹田敏夫、  
入沢哲夫、横関順三、宮村睦男  
等々。

北条中学は圧倒的な強さを誇っています。就中今年の県中総体での活躍は天晴れの一言に尽きますが、それも君の三年間の基礎訓練の賜と言つても過言でないと思います。

君も今、四十年の生涯を賭けた波乱の教職生活を終らうとしています。それを記念するかの如く、川尻は中学日本新記録を以て、全国制覇の偉業を遂げました。それが君の、その青春を捧げ尽した執念の八〇〇筋だつただけに、君はその幸運を神に感謝すべきです。

君は本来「美術」の教師で、「体育」の免許は持つていません。君は「日本水彩展」の常連であり、君から恵与された「午後の佐藤ヶ池畔」は長く私の松美町の陋屋の玄関を飾っていました。然し私には、好悪は別として絵や美術の評価など出来る筈もありませんし、また、毛頭もそのようなおおそれた意企もありませんが、素人なりに、君は単なる「絵かき」ではなく、真価はむしろ「美的生活化、美の日常化」とでも言うべき多岐多様な応用的実践活動にあつたように思います。私たちの「中」在職中に、現校舎をはじめ、北陸一を誇った大体育馆、新案特許とも言うべきブール式防火水槽(旧一中フール)講堂等次々に新設されたのですが、その都

度君が發揮された「光」「色」に対する優れた感覚。就中体育館は「運動広場」でなければならぬと、ステージの設置を拒否した私たちの主張に賛同し、必要に応じ大壁画を飾り、あのガランドウの高い天井から幕を垂らし机を積み上げ、嚴肅且つ壯麗な仮設舞台を作られた卓抜な構成力。一きわ異彩を放つたハイセンスの一中ユニフォームのデザイン等々、幅広い君の美的素養には、ただただ感嘆しました。また、君の得意の分野にボスター、看板等の作製がありました。君がデザインした各種記念誌、紀要、要項、等の数々たしか柏崎体育団のマーケも国旗も君の作成のように記憶しています。それから看板の製作は君の独擅上でした。大は一中体育馆、市営競技場、市民会館等の正面を飾るものから、小は受付、便所などを示す封筒大のものまで、その枠組み、下揃え、紙張り、絵具調合、下塗り、となりました。うす暗くなつた一中体育馆で、糊だらけになりながら見称して、邪魔になりながら見よう見まねで一かどの看板書きになりました。うす暗くなつた一中体育馆で、糊だらけになりながら「これで幾万円もうけたな」と笑い合つたのを憶えています。先般の県中総体を彩つた大小のプラカードは、全部君の

いささか本旨をはずれたようですが、要するに同業の教師として、君が如何に尊敬すべき美術教師であったかを言いたかったのです。そして、その優秀なことに、私は重大な意義を見出します。当時の一中には、君以外にも野球に鈴木賢二君、水泳に金子武一君、卓球に相沢陽一君等の体育教師でない優れた指導者がいました。そして、現在も鈴木君、金子君は勿論、バレーボールの本間君、遠藤君、前川君、黒川君、卓球の有坂君、石塚君、スキーや駅伝の渡辺君等々の諸君は、それぞれ柏刈中体連の代表的指導者ですが、体育専門の教師ではありません。このことは柏刈中体連の誇るべき大きな特徴であり、それでこそ小世帯連の柏刈中体連が、常に県下をリードする高い水準を維持し得たものと思うのです。そしてこの伝統は、君によって拓かれたもので、今後も長く維持されなければならぬと確信します。私はかつて、多分昭和三十年頃と思いますが、同じ「柏崎体育」に「かく専門外の他教科担当の教師が、中学校のスポーツ指導

<p><b>事務局職員と担当事務</b></p> <p>本年度の団の事務局を例年の ように市の体育課に置き、職員 を事務局員に委嘱すると近藤団 長より発表があつた。</p>
×
×
×
△局長 石橋敏正（体育課長）
○次長 柳喜八郎（〃補佐）
局員 ○印主任
△庶務係▽
会議・表彰・懇親会
○飛田瑞穂、入沢信芳、池田 英昭、金子邦夫、石田美津 子
△財務係▽
会計・賛助会員・売店
○井沢隆、末崎章、永宝和彦
△社会体育係▽
市民体育行事・地区体育協 会
○片山晃、酒井明、井沢隆
△少年団係▽
スポーツ少年団・健民少年 団
○花卉憲雄、野村信一、遠山 典子
△選手強化係▽
選手強化・競技力向上教室
○酒井明、矢島秀三、花卉憲 雄
△広報係▽
柏崎体育・体育史 スポーツ教室
○佐藤和夫、飛田瑞穂、片山 晃

田のようないふにはいかないことを計るべきではないか、吉田君の競技指導に何人の不服があるか、彼の指導のどこに学校体育、学校教育の危機の片鱗でも感知出来ると言うのか、馬鹿者。柏刈の全教師が、阿部、吉連会長小師卯三郎一中校長に呼び付けられ「お前の予知、予見が必ずしも不当、不急のものとは思わないが、その責任を学校長に負わすとは何事だ、いやしくも体育を専門とするお前たちこそ、現実に行われているその似非体育活動を眞の体育ないし教育としての軌道にのせる努力をすべきではないか、大体この広範且つ多様多岐の青少年のスポーツ活動の普及向上を、お前たち体育教師のみの手で行うなどと考えているとは僭越至極。

ともわかるが、だからと言つて柏刈の体育・教育の破滅などと云は、思い上がりも甚だしい。一人でも多くの吉田君をつくるのがお前の仕事ではないのか。小師も、中体連会長などと言う勞の多くして報われることの少ない役職をこうして引き受けているではないか」（小師先生は市中学校長会会長ではなかつた）と訓された日のことを想い出します。

教育と勝負が同居し、錯綜、混乱する中体連という組織の中で、起案、印刷、配布集計、連絡、調整、そして錢勘定と神経を磨耗し、説明、弁解、陳謝、斡旋、懇請、哀願と鞠躬如として勤め、時に天幕を張り、土を線を引き、繩を張り、水を汲み星を戴いて帰る。深夜に起き出て天象を占い、食事を忘れて雨のグラウンドを彷徨し、どなりわめき、笑い、泣き、しかも、鬼、悪魔、雷神、生意氣、高慢無礼、厚顏と罵倒され、臆病、お調子者、狡猾、破廉恥、卑怯者と嘲笑された屈辱の日々。多忙にして孤独。憔悴の果て酒を呑む。そんな私の青春に、君は憐憫ではない心からなる熱い涙を注ぎ、拍手喝采を送ってくれました。「茂木吉雄君は、今どこにどうしているかしら」「田村弘君は、いつの日にか中学校にもどれるやら等の醉興な愚痴にも、君は真剣に相手になつてくれました。夜を徹し語り明かしたあの夜の感激は、私にとって生涯の最も安堵した最良の一晩だったようです。私は限りない感謝と親愛の情をこめて、この一文を君に捧げます。

## 中越スポーツハウスで 拾った話

フジンビヨウ教室

『標題を読んで漢字になおし  
なが、一と国語の問題が出て

『機題を語りて漢字にがれ』  
なさい』と国語の問題が出たと  
したら「婦人美容教室」と書く

人は多かるが、なかには「婦人病教室」と考えられても不思議はないのだろう。

正解は「婦人美容体操教室」

が正しいのだが、うつかり電話で省略しながら応待していると

「お化粧教室」か「着付教室」ならまだしも「よろず婦人病相

「談教室」とまちがえられると、お互にチンプンカンパンとな

つて、あとで冷汗を流すことになる。実際にあつた話。

メダ力さん

### 水泳教室の一番泳げない組が

「メダカさん」という。水・土曜を除いて6組あるが、日・

月・木組は浮けない者もいる。

でいろいろ聞いてみた。入った理由は「泳げない」「健康のた

め」で求める効果と一致してい  
る。「教室に入れて子供に求め

「倒的に多く、「自主性」「集中

「力」を求めている。そのせいかどうか、子供の性格では「消極

的」が70%をしめている。

必要だし、加えて「明るさ」を  
求めた指導をしている。

あとがき あつというま  
に 51 年が過ぎてしまった感がする。振り返れば、51 年の最大の事業はなんといつても、東村山市との体育団提携であった。姉妹都市というのはよく聞くが、体育団同志の提携というのは全国でも例がないのではないか。  
また、選手強化の面でも各協会が独自のアイディアで積極的に取り組み中学生の活躍を頂点に、高校生の陸上、軟式庭球、等々、それにまして持筆すべきは、一般のクラブチームの充実であると思う。男子バスケットボール・女子バレーボールの柏崎クラブの活躍に続き、柏崎水球クラブの全国大会での活躍、軟式庭球の柏友クラブ、卓球の柏崎市チーム、駅伝の柏崎チーム等々。これらの人達は仕事の終った後、黙々と練習を続ければ、時には中・高校生の指導に当たり、本当にスポーツを愛している人達だったと思う。これらのクラブが一年一年と大きく成長していくことは、言い換えれば柏崎体育の充実、発展につながっていくものであると考える。  
52 年は市民全員がスポーツに親しむような底辺の拡大と、今年以上に全国、世界で活躍する選手の養成を、そして柏崎体育はこうだという姿を、秋に来柏する東村山体協に示したい。